



総合力世界トップクラスのフェロニッケルメーカーを目指し、企業価値の向上に努めます

経営環境が急激に変化の中で企業に求められること

当社を取り巻く事業環境は激変し、中国経済の減速や原油などの資源相場暴落、不透明な国際金融市場やニッケル鉱石価格の高騰など、前中期経営計画PAMCO-27策定時には予想しえなかった状況に直面し、当社は非常に厳しい経営を強いられています。

このような状況の中、当社は収益性の改善を目指し、操業コスト低減や業務効率化などに取り組んできましたが、ニッケル鉱石価格の高騰、ニッケル鉱石の品位低下に伴う製錬コストの増大などの影響は大きく、事業環境の急激な変化に対応できる企業体質と経営戦略が求められています。

新中期経営計画PAMCO-30の策定

当社は、この厳しい経営環境に対応できる基盤を確立し、より強靱な企業体質の構築と、成長戦略による企業価値向上のため、「総合力世界トップクラスのフェロニッケルメーカー」を目指すことを長期ビジョンとして掲げるとともに、新中期経営計画PAMCO-30を策定しました。

前中期経営計画であるPAMCO-27については、当社の最も重要な課題であるニッケル鉱石調達の長期安定化をはじめ、顧客満足度の追求によるお客様との信頼関係継続、IMSによる環境・安全対策の強化、コンプライアンス・内部統制の強化で確実な成果を上げることができました。しかしながら、新たな販路拡大や生産量の安定化などについては、課題を残す結果となりました。

PAMCO-27の結果を踏まえ、PAMCO-30はフェロ

ニッケルの生産・販売施策の強化、収益性の強化に取り組むほか、引き続きニッケル鉱石の長期安定的な調達や技術力・現場力の強化、環境・安全衛生対策の強化やコンプライアンス・ガバナンスの強化も重点施策として取り組みます。

また、PAMCO-30は長期ビジョン達成に向けた、厳しい経営環境を踏まえた基盤固めと種まきのプロセスと考えております。

当社を支える技術と信頼

当社の事業において、ニッケル鉱石の安定的な調達が最重要課題であり、資源国および鉱石供給会社との連携は必須です。当社は、これまでの技術支援等の取り組みや適正な取引により、資源国および鉱石供給会社から厚い信頼を得ております。また、お客様にも当社の高品質な製品にご満足頂いており、誠実なCS活動により信頼関係を維持しております。一方、資源を調達している海外の政府や取引先では環境保全を大変重視しています。

当社は、世界で最高レベルの厳しさを誇る日本の環境関連法規を順守し、さらに青森県、八戸市と結んだ協定で法規制よりもさらに厳しい基準を達成しており、それを実現する環境対策技術においても、世界のフェロニッケルメーカーをリードしてまいります。一時的な利益に終始せず、環境対策、安全対策などCSRの取り組みを積極的に行うことが企業の持続的な発展につながると考えています。

また、当社の高い製錬技術は従業員によって維持され、進展しています。一方で、従業員の世代交代に伴い、ベテランの技術をいかに若い世代に引き継ぐかが課題となっております。当社では従業員の年齢構成なども踏まえ、数年前より組織的な技術伝承活動を実施しており、製造技術だけでなく、品質・環境・労働安全衛生など製造を支える技術の伝承を強化しております。

企業価値向上に向けて

世界のステンレス需要は、インドや中国などの新興国で伸び続けることが予測され、ステンレスの原料である当社のフェロニッケルの需要がなくなることはありません。現在は苦しい経営状況が続いていますが、全社一丸となってこの危機を乗り越えていきたいと考えています。もちろん、コスト削減を優先するあまり、安全やコンプライアンスをおろそかにすることは絶対に許されません。規律を守り、災害を起こさない努力を今後も継続してまいります。

お客様や取引先からの信頼を支えているのは当社の従業員です。当社の従業員にはその自覚と誇りをもって業務をしてほしいと考えています。従業員が努力し苦勞した成果が当社の企業価値を作り出しています。これは当社が持続的に発展していくための原資と考えています。

近年採用する学生が当社を選ぶ理由の1つに「環境対策をしっかりしているので信頼感がある」というものがあります。環境や社会的な取り組みを確実に行之、アピールすることは、あらゆるステークホルダーからの信頼につながることを実感しております。

今後とも収支基盤の強化とともに、環境・社会の取り組みも努力し続けることで当社に対する信頼と企業価値の向上に努めてまいります所存です。

本報告書を通じ、当社の環境・社会に関するさまざまな取り組みをご理解いただき、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

代表取締役社長

佐々木 朗